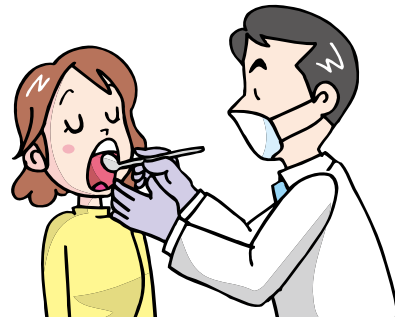


お口に異常のある方は かかりつけ歯科医にご相談を

愛媛県歯科医師会会員の歯科医院では、患者さんのお口の中に「**口腔扁平苔癬**」を見つけたら、「**肝炎ウイルス**」との関連を説明し「**肝臓専門医**」を紹介することで、ウイルス検査の推進とウイルス感染者の早期発見・早期治療につなげたいと考えています。

検査の流れ

- 1 歯科医院受診** 口腔扁平苔癬が見つければ肝炎ウイルスとの関連を患者さんへ説明。
- 2 肝臓専門医紹介** かかりつけ歯科医から肝臓専門医を紹介する。
- 3 検査・治療** 肝臓専門医の医療機関にて検査、治療。



詳細はこちらから



かもしれません！

そのお口の中の炎症やただれ、
ウイルス性肝炎に関連した
口腔扁平苔癬



愛媛県

一般社団法人
愛媛県歯科医師会
Ehime Dental Association



口腔扁平苔癬とは？

【口腔扁平苔癬の画像】

画像提供：愛媛大学大学院医学系研究科
口腔顎顔面外科学講座
内田大亮 教授



口唇



頬粘膜



舌



歯肉

「口腔扁平苔癬」とは

「**口腔扁平苔癬**」は口の中の粘膜や舌の表面などに見られる白色でレース状の病変で、その周囲が赤くただれることもあります。「口腔扁平苔癬」は治るのに時間を要し、「口腔潜在的悪性疾患（前癌病変）」であるため、定期的な経過観察が必要です。

口腔扁平苔癬の方は肝臓病の合併率が高い

口腔扁平苔癬がある方は**肝臓病**の合併率が高いことが報告されており、特に合併率が高い疾患が**C型ウイルス性肝炎**です。2018年に愛媛県歯科医師会が愛媛県内で行った調査でも「口腔扁平苔癬」の方のうち、43%の方に肝炎ウイルスの感染（B型肝炎を含む）が認められ※、発症原因に肝炎ウイルスの関与が示唆されています。

※ Nagao et al. Prevalence of viral liver disease and oral lichen planus in patients who visited dental clinics: a study by the Ehime Dental Association. OBM Hepatology and Gastroenterology 3: 1-10, 2019

肝炎ウイルスと肝外病変

肝炎ウイルスは、肝臓以外の臓器や組織に様々な病変をひきおこします。これを「**肝外病変**」といい、そのひとつが「口腔苔癬様病変」です。C型肝炎ウイルスは、肝炎のみならず、甲状腺の病気（機能低下や亢進）やシェーグレン症候群（目や口のかわき）、扁平苔癬（口腔、皮膚）、糖尿病、腎炎、がん、循環器系疾患、呼吸器系疾患など**全身感染症**を引き起こすウイルスであることが明らかにされています。

肝炎ウイルスに感染すると…

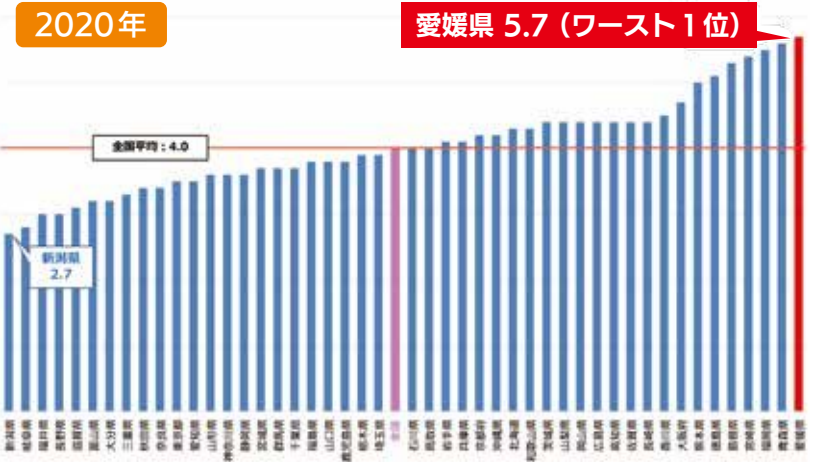
肝炎ウイルスに感染し**慢性肝炎**を発症すると、炎症によって徐々に肝臓の細胞が壊れていきます。進行が遅く、多くは無症状であるために、20年30年かけてゆっくり肝臓の線維化が進み、症状が現れたときには**肝硬変**や**肝細胞癌**になっている可能性があります。

愛媛県は肝がん死亡率上位県

日本には約150万人の**C型肝炎ウイルス感染者**がいると推定され、約100万人は治療されずにいます。そして毎年約3万人が**肝がん**で亡くなっています。（愛媛県の肝がん死亡率は常に上位です）。早くウイルス感染を見つけて適切な治療を行えば、多くの患者さんはウイルスを駆除でき、肝硬変、肝がんになることを防ぐことが可能になりました。

肝がん年齢調整死亡率

都道府県別、肝がん75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対、令和元年）



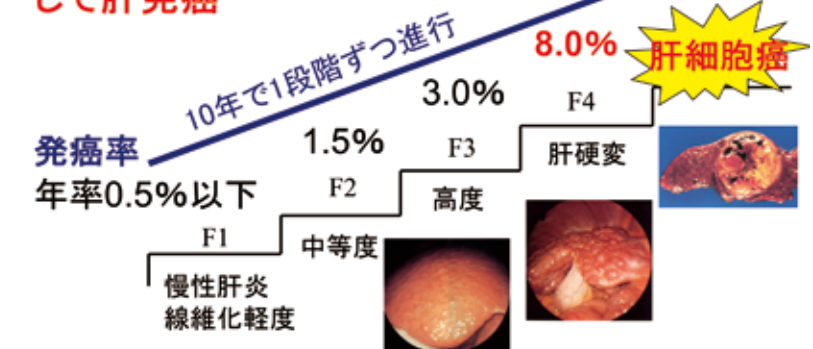
（「がん情報センター」HP 75歳未満年齢調整死亡率（令和元年）より作製、データソース：厚生労働省「人口動態統計」）

C型肝炎の最新治療法

2014年以降、短期の（数ヶ月）**DAA治療**（飲み薬のみ）でC型肝炎ウイルスを95%以上の確率で駆除できるようになりました。しかも副作用がほとんどなく80歳や90歳の方でも若い方と同様の効果が得られます。以前のインターフェロン治療を副作用のため中断せざるを得なかった方や、治療が難しかった重度の肝硬変の患者さんでもウイルスを駆除し、肝機能を回復させることができるようになりました。この治療は**肝臓専門医**のもとで受けることが可能です。

肝炎ウイルスによる肝硬変・肝がん

肝炎ウイルスは20-30年持続感染して肝発癌



日本肝臓学会編：慢性肝炎の治療ガイド2008年より改定

C型肝炎患者は約150万人、B型肝炎患者は約90～130万人いるといわれる

図提供：愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学講座 日浅陽一 教授